



議会だより



1月10日から中学校完全給食が始まっています



広報特別委員会も給食の試食会へ行きました。
保護者の負担軽減と、子どもたちの健やかな心身をはぐくむ給食になっていると思います。

3月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29	3/1	2
		本会議 市長提案 理由説明		本会議 質疑 委員会付託		
3	4	5	6	7	8	9
		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会		
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)		予算特別 委員会	
17	18	19	20	21	22	23
	予算特別 委員会	予算特別 委員会 (予備日)	春分の日		本会議 委員長報告・質疑 討論・採決	

議会を傍聴してみませんか

本会議は51人、委員会は12人まで傍聴できます。詳しくは議会事務局までご確認ください。

12月定例会リポート	34P
議決結果一覧	36P
個人質問	37P
常任委員会行政視察報告	45P
意見交換会報告	46P

12月 定例会レポート

○令和5年第4回定例会(令和5年12月1日~12月19日) 会期19日間

○専決処分

- ◆専決処分の報告について
(市公用車による一般車両損傷事故の損害賠償の額の決定)《報告第13号》

同意

○財産の取得

- ◆財産の取得(太宰府市緑地保護地区内)について
⇒大佐野ダム上流の緑化保護地区内の土地を、26,575㎡(5,208万7千円)取得します。
令和5年度の買収実施による買収率は、48.5%です。《議案第48号》

可決

○指定管理者の指定

- ◆太宰府市共同利用施設の指定管理者の指定について
⇒太宰府市共同利用施設9か所の次期3年間の指定管理者を指定するものです。《議案第49号》

可決

○条例

- ◆太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について
⇒人事院勧告に伴い条例の一部を改正するものです。《議案第50号》
- ◆太宰府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について《議案第51号》
- ◆太宰府市歴史と文化の環境税条例の一部を改正する条例について
⇒適用期間の3年延長を行うために改定を行うものです。《議案第52号》

原案可決

原案可決

原案可決

○特別委員会の設置

- ◆特別委員会(史跡地活用調査研究特別委員会)の設置について《発議第3号》

原案可決

○請願

- ◆「前年度・2022年度に『市民と議会の意見交換会』を2回開催した前例を踏襲し、今年度・2023年度も11月19日開催分に続いて今年度・2023年度中にもう1回の開催、もしくは令和6年第1回(3月)議会後の2024年4月ないし5月での開催を求めること」に関する請願書
⇒『市民と議会の意見交換会』の複数回開催を求める請願です。《請願第2号》
- ◆「太宰府市政の根幹とされる市長のマニフェスト、および四半期毎の進捗評価、そして市長マニフェストと総合戦略との関係性についての合理的説明を太宰府市役所ホームページに掲載して、太宰府市民らに情報公開することを求める」件に関する請願書
⇒第18回マニフェスト大賞エリア選抜(九州・沖縄エリア)に選ばれた楠田市長のマニフェストとその詳細について、市ホームページに公開することを求めるものです。《請願第3号》

不採択

不採択

○意見書

◆女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を要請する意見書

⇒1985年に我が国も批准した女性差別撤廃条約に関して、条約の実効性を高めるための選択議定書の速やかな批准を政府に求めるものです。《意見書第6号》

原案可決

◆地方財政の充実・強化に関する意見書

⇒2024年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、物価高騰等の多岐にわたる重要課題への対応を勘案しながら歳入・歳出を的確に見積もり、地方一般財源の適正な確保を政府に求めるものです。《意見書第7号》

原案可決

◆教員不足解消のため定数増など抜本的な改善を求める意見書

⇒子ども達の学びを保障し、学校現場の疲弊と教員の多忙化を改善するよう、教員不足解消のための定数増など抜本的な対策を福岡県に求めるものです。《意見書第8号》

原案可決

○令和5年度一般会計補正予算(第4号)

※予算は主なものを掲載しています。

◆歳入・歳出それぞれ5億3,395万4千円を追加し、
総額は325億4,860万3千円になりました。

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
戸籍住民基本台帳費	1,803万1千円	マイナンバーカードへの氏名ローマ字表記等対応 1,463万円
教育総務費	2,163万5千円	特別支援学級運営費 380万円 学級増に伴う消耗品や備品の購入費です。
小学校費	4,163万1千円	消耗図書 3,009万6千円 教科書の改訂に伴う購入費です。
保健体育費	1,520万3千円	史跡水辺公園屋外プール改修事業 1,507万5千円 令和6年再開に向け改修を行うものです。

○令和5年度一般会計補正予算(第5号)

◆歳入・歳出それぞれ6億1,051万7千円を追加し、
総額は331億5,912万円になりました。

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
社会福祉費	6億1,051万7千円	エネルギー・食料品価格等高騰低所得世帯支援給付金給付事業費 非課税世帯へ1世帯あたり7万円を支給します。

○令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◆歳入・歳出それぞれ212万5千円を追加し、
総額は14億4,949万5千円になりました。

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
総務管理費	212万5千円	職員給与費 人事院勧告や人事異動に伴うものです。

○令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

◆保険事業勘定は歳入歳出ともに総額は59億5,299万9千円になりました。原案可決

◆介護サービス事業勘定は歳入歳出ともに総額は6,360万9千円になりました。

保険事業勘定

費目	補正予算額	主な事業と予算額
総務管理費	50万3千円	地域密着型事業所指定システム使用料 33万円 システムのアップグレードに伴うものです。

12月定例会 全会一致で可決した議案

議案番号等	案件名	議決結果
報告第13号	専決処分の報告について(市公用車による一般車両損傷事故の損害賠償の額の決定)	—
議案第48号	財産の取得(太宰府市緑地保護地区内)について	可決
議案第49号	太宰府市立共同利用施設の指定管理者の指定について	可決
議案第50号	太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第52号	太宰府市歴史と文化の環境税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第53号	太宰府市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第54号	令和5年度太宰府市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第55号	令和5年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第56号	令和5年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第57号	令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第58号	令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第59号	令和5年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第60号	太宰府市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第61号	令和5年度太宰府市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
意見書第6号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を要請する意見書	原案可決
意見書第7号	地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決
意見書第8号	教員不足解消のため定数増など抜本的な改善を求める意見書	原案可決
発議第3号	特別委員会(史跡地活用調査研究特別委員会)の設置について	原案可決

12月定例会 賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

議案番号等	案件名	議決結果	公明党		幸光		新風		市民ネット		市民の声		未萩のまち		無党派			
			小島貴由美	堺剛	陶山良尚	原田久美子	入江寿	船越隆之	門田直樹	今泉義文	徳永洋介	森田正嗣	長谷川公成	橋本健	木村彰人	馬場礼子	神武綾	笠利毅
議案第51号	太宰府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
請願第2号	「前年度・2022年度に『市民と議会の意見交換会』を2回開催した前例を踏襲し、今年度・2023年度も11月19日開催分に続いて今年度・2023年度中にもう1回の開催、もしくは令和6年第1回(3月)議会後の2024年4月ないし5月での開催を求めること」に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○
請願第3号	「太宰府市政の根幹とされる市長マニフェスト、および四半期毎の進捗評価、そして市長マニフェストと総合戦略との関係性についての合理的説明を太宰府市役所ホームページに掲載して、太宰府市民らに情報公開することを求める」件に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○

※門田直樹議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。

※以下の党派名について、一部省略して記載しています。

市民ネット：太宰府市民ネット 市民の声：太宰府市民の声 無党派：党派に所属していない議員

陳 情

陳情第7号	健康保険証の存続を求める意見書採択についての陳情書	環境厚生常任委員会に送付
陳情第8号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情	議会運営委員会、総務文教常任委員会に送付
陳情第9号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	環境厚生常任委員会に送付



問 市民と公共計画をつくりませんか

木村 彰人 議員



録画映像はこちら

Q 総合計画といえ
ば行政の政策を
網羅する法定計画であ
るが、現在では、市民
主体となって作成し、
市民と行政が共有する
地域の特性に合った行
動指針という性格を持
つ、松浦市のような「
公共計画」もある。

A 理事 ①市政運
営の礎としてい
る総合戦略は、市長
の一期目公約、まちづ
くりビジョン会議、パ
ブリック・コメントな
どを経て策定したも
のですが、各個別計
画や施策とも連動し
両立しつつ成果を積
み重ねています。

本市では令和2年度に総合計画が終了し、現在は総合戦略にもとづく行政運営が行われている。「公共計画」策定を視野に2点伺う。

① 太宰府市総合戦略は公共計画になりうるものか。

② 同戦略終了後の新計画の策定準備は進んでいるのか。

② 国は、令和5年度から5か年のデジタル田園都市国家構想総合戦略を策定しているところですが、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の方向性も見ながら、総合戦略については令和6年度にまずしっかりとレビューを行うおつと考えています。



松浦市の計画の表紙

全質問項目

- ◆ 松浦市の「公共計画」に学ぶ、新たな総合計画の策定に向けて
- ◆ 「太宰府市総合戦略」におけるプロジェクト管理について

どうなっとうと？個人質問



問 更なる子育て支援策の充実を

原田 久美子 議員



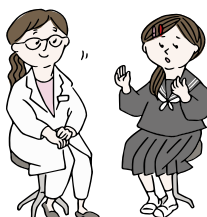
録画映像はこちら

Q ①令和3年4月
時点で通院費の
助成対象を高校生まで
としている自治体は8
17市町村、春日市で
も令和6年度中に子ど
も医療費を無償化する
予定で、県内では、嘉
麻市など計4自治体で
令和6年4月から古賀
市も加わる予定だが、
本市では、0歳から3
歳まで無料となってい
る。子育て支援策とし
ての医療費の助成につ
いて、市の見解を伺う。

A 部長 ①本市の
入院費自己負担
は、3歳から中学生ま
で1医療機関当たり日
額500円、月額で7
日上限の3,500円、
通院に係る医療費の自
己負担は3歳から就学
前まで1医療機関当た
り月額600円、小学
生は月額1,200円、
中学生は月額1,60
0円としています。子
ども医療費は、基本的
に国・県で全国一律に
対応がとられるべきも
のであり、さらに強く
要望しつつ、他自治体
の状況をみながら判断
していきます。

②本市の児童手当の支給対象や児童4人以上のケースについて伺う。

② 児童手当は中学校修了前の児童を養育してい



る方に支給しています。また、保育園児が4人いる場合ときょうだいが既に入所している場合も手続きの簡略化を図っています。

全質問項目

- ◆ 子育て支援策について
- ◆ 竹林対策について



問 欠席が増えてきている児童・生徒への対応は

はせがわ こうせい
長谷川 公成
議員



録画映像はこちら

Q ①病気やけがではない理由で学校を欠席している児童・生徒への対応は。

- ②学校に気持ちが向かない児童・生徒に対して、リモートでの授業出席への対応は。
- ③学校行事が苦手で不登校になる児童・生徒への対応は。
- ④欠席が増えることで学習の遅れが懸念されることへの対応は。



A 理事 ①福岡県教育委員会が示している不登校が生じないような学校づくり

「福岡アクション3」を参考に不登校対策に取り組んでいます。

- ②太宰府市における不登校児童・生徒への支援のためのガイドラインのつとり、定められた要件を満たすことで、自宅でICT等を活用した学習を行うことを出席として認めています。
- ③児童・生徒の成長のために苦手なことを少しでも解消できるよう、気持ちを考えつつ、支援を行っています。
- ④前述の太宰府市における不登校児童・生徒への支援のためのガイドラインを令和3年9月に策定し、児童・生徒の学びを止めないように対応しています。

全質問項目

- ◇欠席が増えてきている児童・生徒の対応について
- ◇児童相談所と保護者及び関係機関との関わり方について



問 介護保険制度を持続可能にするために

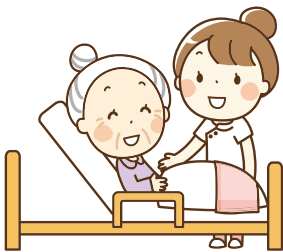
こうたけ あや
神武 綾
議員



録画映像はこちら

Q ①介護保険給付費支準備基金について第9期介護保険事業計画では基金の取り崩しを行い介護保険料の引き下げをすべしと考えるが見解を伺う。

- ②支援事業の現状について、認定者以外の方が受けられるサービスの活用状況の見解と、第9期における重点事業を伺う。



A 部長 ①本市の人口の将来予測では、支援が必要な高齢者と保険給付費は、今後増加していくことが予想され、国が示している第1号保険料の見直しの方向性では、低所得者の保険料上昇を抑制する必要があるとされています。国の方針を踏まえ、本市でも基金の活用も念頭に置きつつ保険料の見直しを行ってまいります。

- ②介護認定を受けていない方も利用できる、一般介護予防事業、地域包括支援センター運営事業、認知症総合支援事業に重点をおき、健康寿命の延伸、介護サービスの向上につながるよう引き続き高齢者に寄り添った地域支援事業を実施していきます。

全質問項目

- ◇持続可能な介護保険制度の構築について
- ◇公共施設の指定管理者制度の運用について
- ◇思春期の子どもたちの豊かな成長を保障するために



問 部落差別解消に向けた取組は

とくなが ようすけ
徳永 洋介
議員



録画映像はこちら

Q 本市は令和2年
太宰府市部落差別の解消の推進に関する条例を制定し、基本的理念を定め市の責務を明らかにし、相談体制の充実を定めることで部落差別解消を推進している。条例制定後の現状について3点伺う。

- ①相談体制の充実に向けた具体的取り組みについて
- ②教育及び啓発に向けた施策について
- ③部落差別の実態調査で分かった課題と取組状況について

A 部長 ①隣保館にて毎月2回、

就労や健康等の相談事業を実施し、内容により市の担当課等関係機関と連携するなど相談体制づくりを図っています。

理事・部長 ②学校では、

9か年カリキュラム及び人権に視点をあてた社会科学カリキュラムを策定し授業を行っています。学校の研修では全教員が人権教育レポートを作成し校内で人権教育実践交流会をしています。

啓発としては、同和問題啓発強調月間の7月に講演会を開催し、

8月～12月には「人権

講座ひまわり」を開催しています。

部長 ③就労形態では正規職員の割合が低い課題が見え、関係機関と連携し問題解決に取り組んできたところです。



全質問項目

- ◇部落差別の解消に向けた取り組みについて
- ◇上下水道事業の課題解消に向けた取り組みについて



問 持続可能な地域共生社会を目指す本市の役割と責務とは何か

さかい つよし
堺 剛
議員



録画映像はこちら

Q 持続可能な地域共生社会を目指す本市の役割と責務について3点伺う。

- ①地域公共交通の改革に関して、市の見解は。
- ②地域共生社会の醸成を図るため「高齢者の活力」を推進できる仕組み作りが重要と考えるが、市の見解は。
- ③現役世代への定年後を見据えたアプローチも人材育成の観点から重要と考えるが、市の見解は。



A 部長 ①現在、

太宰府市地域公共交通活性化協議会において、公共交通の利便性向上や最適化について議論を進めています。まずは既存の交通手段を活用する方法を模索し、対応できない部分についてはデマンド交通などの導入や、地域コミュニティなどと協働した新しい公共交通の議論も必要であると考えています。

②地域活力の醸成には高齢者の活力は欠かせないものと認識しています。今後は、高齢者の方が培った能力や経験を活かして地域で活躍できる仕組みづくりを

構築していきます。③現役の時期から地域とのつながりを持つことは、地域共生社会構築の観点から重要であると認識しています。高齢者が地域で活躍できる仕組みづくりなど、「新しい公共」という観点からも調査・研究を重ねたいと考えます。

全質問項目

- ◇持続可能な本市の更なる地域共生社会を目指して
- ◇市民生活に直結する公共施設の整備について



橋本 健 議員

問 すぐやる課の新設を



録画映像はこちら

Q すぐやる課の元祖である松戸市の経緯を踏まえ3点伺う。

- ①市民がどんなことで困り、何をどのように望んでいるのか、多様化する相談内容の現状は。
- ②電話やホームページや直接来庁しての相談の中で、緊急性の高いものや予算を伴う案件を各部署がどのような姿勢で対応し処理されているのか。
- ③市民の不安や不満の解消にスピード感を持って処理する、すぐやる課の新設を提案するが市長の見解は。

A 理事 ①相談を受けた場合それぞれの所管部署でスピード感をもって適宜対応しており、広報だざいふにおいて行政による各相談窓口や、弁護士、司法書士など各種専門家による相談窓口も紹介しています。

- ②市が対応できることは所管部署にてすぐに対応できるものか予算処置が必要なものかを見極めながらスピード感をもって対応し、所管での対応が困難なものも関係機関へ連絡するなど丁寧に対応してまいります。
- ③市長を始め職員ともども日常活動を通じて、

全質問項目

- ◆本市の新たな行政の取り組みについて

すぐやる課



毎週開催している副市長・部長会議などで情報共有をし、広聴機能のさらなる強化を図り処理していきます。



タコスキッド 議員

問 市長は市民の声にこたえているのか



録画映像はこちら

Q 第18回マニフェスト大賞で九州沖縄エリアから楠田市長のマニフェストが同HPに掲載された。

- 「有権者の声を市政に直に反映させるため」と始まる市長のコメントが掲載されているが、この3年間市長と語る会は開かれておらず、オープンな場で声を届ける場がないということに市民からは不信感があがっている。そこで5点伺う。「はい」、「いいえ」のみで回答を求める。
- ①広報「だざいふ」には市長の写真が多すぎ、市長だよりと挿げられていることを知っているか。



- ②ふるさと納税の好調、過去最高の市税収支などがよく広報されるが、本市は経済的に余裕があるのか。
- ③本市事業の外部委託は過剰に思えるが適切か。
- ④旧統一協会とのかかわりに問題はなにか。
- ⑤市長がとる責任とは、市民に大きな損失が起きたときに、市長が判断して行動をとるといふ意味か。

全質問項目

- ◆市長は市民の声に誠実に対応できているか
- ◆小中学校で医師の診断書提出が必要な場合の家庭の負担を軽減したい
- ◆指定管理施設における本市の責任は

A 市長 そもそも問いの導入や設定が二面的ですが「はい」、「いいえ」の二択で答えることは市民の声への応じ方としてはなじまず、また複雑な政治・行政問題の画一化・矮小化にもつながることから、そのような土俵にはのりません。



問 書かない窓口の
実施導入に向けて

ふなこし たかゆき
船越 隆之
議員



録画映像はこちら

Q 書かない窓口について、環境厚生常任委員会として先進地である鹿児島県長島町へ視察に行った。長島町では、書かない窓口の総事業費が約2,500万円、財源は令和3年度補正予算デジタル田園都市国家構想交付金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用されていた。住民情報については、住民記録システムとデータ連携をしていることから申請時の書き損じや誤り等がないため、事務効率の向上が図られている。手続の時間短縮、市民サービスの面から、本市へのシステム導入や窓口業務のデ

ジタル化に関しての見解を伺う。

A **部長** 本市の市民課窓口業務の現状として、各種証明書コンビニ交付や転入届時の業務統合などの総合窓口の導入により手続きの簡素化をしています。

他にも、おくやみの際の窓口案内では、各部署での手続きが円滑になるように事前準備すること、市民の皆様の負担軽減に努めています。市民にやさしい窓口を念頭に置きながら、窓口のワンストップ化「書かない・待たない・回らない」窓口について調査研究を行っています。



市役所 1階窓口

全質問項目

- ◇書かない窓口について
- ◇中心市街地の活性化について



問 公共施設マネジメントの取組状況は

おばた まゆみ
小島 真由美
議員



録画映像はこちら

Q 公共施設マネジメントの取組について2点伺う。

①公共施設の設備点検や保守管理等の業務について。

②いきいき情報センター1階の今後の活用について。

A **部長** ①本市の公共施設は、設備点検や保守管理等を施設ごとに様々な方法で行っています。市役所本庁舎のように施設の管理や点検業務をそれぞれ委託している施設もあります。

一方で、指定管理者制度という形で施設全体の管理を委託している施設もあります。

②1階のフリースペースは、全世代交流スペースとして開放しています。

学習スペースの拡充・拡大は、このスペースに限らず市全体として要望も多く解決していくべき課題であると考えています。

新たに事業所用店舗として活用したいという事業所があれば、現状での貸付けを基本として、まずは使用料金等を含めて協議していきたいと考えています。



全質問項目

- ◇公共施設マネジメントの取組について



馬場 礼子
議員

問 子育て支援事業（ショートステイ事業）の現状は



録画映像はこちら

Q ①ショートステイ事業の現状は、②現状の体制で親のサポートが充分か。

③今後、改善をする予定があるか、どのような改善策を考えているか。
④(1)里親ショートステイの取組を認識しているか。

A **部長** ①一定期間の範囲内で児童の養育支援を行う事業として、本市では大

刀洗にある施設と契約しています。
②子育て支援課にて、預け先についての相談を受けており、保護者が適切な支援を選択でき

るように応じています。
③現在ショートステイ事業の預かり対象を2歳以上の子どもとして

ることから、今後は2歳未満も対象にするるとともに近隣の委託先の開拓などを検討していきます。

④(1)保護者の病気や仕事、育児疲れなど様々な理由により一時的に養育が困難になった場合に里親が最長7日間の範囲で子どもを預かる制度で、通学等の日常生活も送れる取組みと認識しています。

②太宰府市の登録世帯は17世帯で、そのうち5世帯が里親ショートステイに賛同いただいで



います。県内の導入自治体が少ないため、今後調査研究に努めていきます。

全質問項目

- ◇子育て短期支援事業（ショートステイ事業）の現状について
- ◇情報格差をなくすためのスマホ教室の拡充と市政情報の発信について



入江 寿
議員

問 オーバーツーリズムにどう対応するか



録画映像はこちら

Q ①本市はオーバーツーリズム状態にあるか。

②住む人も訪れる人も共に喜びを分かちあえるまちづくりを目指すことが大事であるが、現状は交通渋滞問題、ごみや騒音等の生活環境問題がある。それに関し地域住民が我慢し、どんな考えや思いを抱いているか理解しているか。

A **部長** ①令和5年5月コロナ5

類移行により、国内観光客のニーズと地域住民の生活環境の調和を図り、両者の共存・共生の対応策を検討する必要がありますか何う。

光客が増えたうえ、訪日外国人の数も回復しオーバーツーリズムの状況にあると認識しています。

②ごみ、タバコのポイ捨て問題について要望をいただいたり、本市観光協会との協議の中や、参道事業所の方、市民からご意見をいただく機会もあります。市民意識調査の結果、交通環境の向上について満足度が低いことから重要な課題だと捉えています。

③歴史と文化の環境税を財源に年末年始の交通誘導員の配置、臨時駐車場や仮設トイレの設置、門前町美化推進事

業として散乱ごみの回収等、オーバーツーリズム対策を継続的に実施していきます。国、県、観光協会、交通事業者、地域関係の皆様と課題を共有し協議を重ねていきます。

全質問項目

- ◇太宰府のオーバーツーリズムについて
- ◇太宰府天満宮参道の改修整備について



出没したイノシシ

- Q** 有害鳥獣としてのイノシシへの向き合い方について、5点伺う。
- ①イノシシ被害の現状について。
 - ②イノシシ被害対策の現状について。
 - ③イノシシがなぜ都市部へ降りてくるのか。
 - ④イノシシの都市部移動で起きる問題は何か。
 - ⑤イノシシと人との共生をどう図るか。



森田 正嗣 議員

問 被害が増えつつあるイノシシへの向き合い方を問う



録画映像はこちら

A 部長 ①令和4年度の被害面積は60a、被害金額は51万7千円です。人的被害は発生していません。

- ②頭数を減らすための取組として、猟友会等と連携して、イノシシ捕獲用の箱わなを約100箇所設置しています。作物被害を防ぐ対策として、侵入防止柵を設置するための補助金もあります。
- ③生活ごみや落下した果物などから人間の食べ物の味を覚えてしまったことや、本来警戒心が強いイノシシが人に慣れてしまったことなどが考えられます。
- ④農作物等への被害、生活ごみの食い荒らし、イノシシの衝突による人的被害などが想定されます。
- ⑤本市環境基本計画には、生物多様性の確保と自然共生を掲げています。しかしながら、人的被害の恐れがあるイノシシについては駆除せざるを得ず捕獲を実施しています。

全質問項目

◇イノシシへの向き合い方について

どうなっとうと？個人質問



陶山 良尚 議員

問 「令和」をまちづくりを活かそう



録画映像はこちら

Q ①大伴旅人の邸宅があったとされる坂本八幡宮や「万葉集」「梅花の宴」等は、歴史的文化遺産ともいうべき貴重な財産である。今後どうまちづくりに活かしていくのか。

- ②本市が「万葉」の中心となったと言っても過言でなく、独自で調査研究や情報を発信していく施設として(仮称)万葉会館が必要と考えるが設置構想はあるか。
- 部長** ②万葉に対する市民への啓発や観光のおもてなしについては大宰府展示館を核として展開しています。現在具体的な館の設置構想には至ってませんが、大宰府館、大宰府展示館、水城館、文化ふれ

全質問項目

◇「令和」を活かしたまちづくりについて
◇プロスポーツチームとの連携について



「梅花の宴」再現ジオリマ

あい館4館の連携事業の構想と併せてさらに調査研究を進めたいと考えています。



問 気候非常事態に
どう取り組むのか
笠利 毅 議員



録画映像はこちら

Q 市は、気候非常事態ゼロカーボンシティ宣言をし、地球規模の責任と貢献を誓ったことは評価しているが、世界に冠たる都にふさわしい具体的な努力を要望する。市の地球温暖化対策実行計画について3点伺う。

- ① 事務事業編について、公共施設に関して今年どのような気候変動対策を行っており、来年はどのような予定を計画し、その計画の進捗状況は、どのように公表しているのか。
- ② 区域施策編に示されている市の緩和策について、補助金などの利用状況やさらなる緩和策の推進については。
- ③ 再生可能エネルギーの最大限の導入について具体的な検討や組織の設置を進めているのか。

A 部長 ① 公共施設の照明のLED化を行っており、来年度以降も引き続き進めるとも再生可能エネルギー設備の設置など包括的に検討を行っています。計画の進捗は第四次太宰府市環境基本計画の令和3年度実施報告書成果指標で項目として重複する部分があるため、併せて公表しています。

- ② 令和3年度から地球温暖化対策推進補助金として、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）や戸建住宅用再生可能エネルギー発電設備、蓄電池設備の導入や次世代自動車の購入に対する補助金を交付しています。緩和策として行っている取組は、パークアンドライド駐

車場の利用推進、まほろば号の市内巡回、一人ひとりごみ減量プロジェクトなどを行うとともにごみ減量推進に関する情報の発信啓発などが挙げられます。③ 補助金は、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入、地域内消費につながるものであり、検討組織としては環境基本計画推進委員会の活用も可能と考えられています。

全質問項目

◆ 気候非常事態ゼロカーボンシティ宣言のその後について



問 バス路線変更についてどう対処するのか
今泉 義文 議員



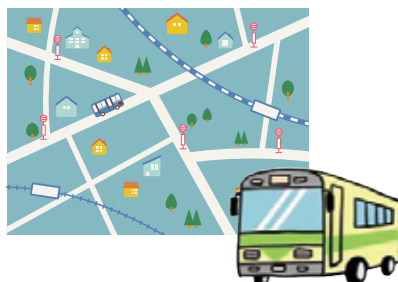
録画映像はこちら

Q 令和5年10月の西鉄バスのダイヤ改正により、本市では星ヶ丘線が太宰府高校に境に分割された。

- 改正後はバス代がさらにかさむようになったという声、利便性の低下を憂う声も聞くようになった。西鉄も収支を考慮しつつ、運転手不足や残業規制の強化も対応しなければならず、行政の支援が必要であるため2点伺う。
- ① 西鉄と本市との協議について
- ② まほろば号で路線分割をカバーできないのか

A 部長 ① 今回のダイヤ改正については、令和5年4月に内容が示されました。ダイヤ改正は事業者の権限になりますが、本市からは現状維持をお願いするとともに、利用者にとって不便とならないよう特段の配慮をお願いしてきました。

- ② 近くをまほろば号高雄周りが通っていますので、可能な方はぜひ高雄周りをご利用ください。まほろば号の路線変更を伴う対応となると、既存路線との調整、市域全体の交通の中でも考える必要があり、今後情報収集、調査研究を重ねてまいります。



全質問項目

◆ 公共交通機関の充実について
◆ 防犯のための街灯整備について

総務文教常任委員会

日程:令和5年11月1日(水)～11月2日(木)

●川西地区自主防災会について／香川県丸亀市(11月1日)

丸亀市連合自治会長が、自主防災の必要性を痛感し、地域おこしの『機関車』(牽引していく原動力)として地道な活動により大きな自主防災組織を築くまでになった経緯を詳細に伺ってきました。

●スマートシティたかまつ推進プランについて／香川県高松市(11月2日)

市民全員がデジタル技術を活用でき、社会全体でDX^{*}を進めることで、誰もがどこからでも利便性を享受できるスマートシティたかまつの実現を目指し「デジタル改革宣言」をした都市です。市が独自で積み上げているシステム、民間でできたパッケージサービスを契約して市民が使えるようにするもの、デジタルデバインドの対応策など伺い参考にしていきます。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)とはデジタル技術を活用して、人々の生活をより良いものへと変更すること。



高松市

環境厚生常任委員会

日程:令和5年10月19日(木)～10月20日(金)

●書かない窓口について／鹿児島県長島町(10月19日)

令和5年3月24日から鹿児島県長島町で「書かない窓口」のサービスが、九州初として始まりました。住民票や印鑑証明書発行などの手続きにかかる時間の短縮と届出書記入の負担軽減は、本市でも参考になるため視察してきました。



りぼんかん

●すこやか子育て交流館(りぼんかん)について／鹿児島県鹿児島市(10月20日)

近年の少子化、核家族化の進行や共稼ぎ世帯の増加に伴う近隣との人間関係の希薄化により、子育て中の親が、気軽に相談できる相手や仲間が身近にいないなど、家庭や地域における子育て支援機能の低下が問題となっています。子育て中の親の不安感や負担感を軽減するとともに、子育て家庭や団体等の活動をさまざまな角度からサポートする総合的な子育て支援の拠点として整備された「すこやか子育て交流館(りぼんかん)」を視察してきました。

建設経済常任委員会

日程:令和5年10月11日(水)～10月13日(金)

●茅ヶ崎市バリアフリー基本構想について／神奈川県茅ヶ崎市(10月11日)

バリアフリーの「ハード面」の整備と同様に、「ソフト面」となる「こころのバリアフリー」を構想に盛り込んだ部分が先駆的です。現在、策定中の本市の構想にも取り入れたい取り組みです。

●横須賀市観光戦略について／神奈川県横須賀市(10月12日)

市内の観光スポットをルートで結び、市内全体をミュージアムとして捉える「よこすかルートミュージアム」を中心に、観光戦略を展開しています。本市における観光スポットの回遊性を高めるためのヒントになると考えます。



茅ヶ崎市

●海老名市住みよいまちづくり条例について／神奈川県海老名市(10月13日)

来るべき超高齢化と人口減少に備えて、「住みたい、住み続けたいまち」を目指す海老名市は、海老名市独自のルールである「市民参画によるまちづくり」の要素を付加した条例を制定・施行しました。これからの持続可能なまちづくりを進める本市も参考にしたい取り組みです。



市民と議会の意見交換会を開催しました

日時: 令和5年11月19日(日) 10時~12時 場所: いきいき情報センター2階

全体説明会の後、常任委員会ごとに分科会を2回開催し、出席者からは活発なご意見をいただきました。

全体説明会では、意見交換会のあり方について、もっと工夫してほしいとのご意見や他市の開催方法とも比較研究してほしいなどのご要望がありました。

分科会で出た主な意見

● 総務文教常任委員会では

- ・ 議会としても行財政改革(職員数や再任用配置、人事評価など)の推進について提案をしてほしい。
- ・ いきいき情報センターの自習できる場所の拡大を要望(現役高校生からの声)。
- ・ 今の公民館は集会場に過ぎない。自治会は任意団体ではなく法的根拠を示してほしい。
- ・ 選挙は、デジタル社会に対応して投票率UPを図るべき。
- ・ ・・・など主に市政運営や自治会機能等のご意見がありました。

● 環境厚生常任委員会では

- ・ 自治会に加入していない対象者に敬老会事業費を届けていない所がある。
- ・ 子どもの居場所づくりの支援をしてもらいたい。
- ・ 不燃物ゴミの分別が難しいので市から指導してほしい。
- ・ ・・・など主に地域や生活福祉の観点からのご意見がありました。

● 建設経済常任委員会では

- ・ 多くの意見を聞く場の設定が必要。
- ・ 常任委員会ごとでなく3常任委員会委員が混ざった形で分科会を作るべき。
- ・ 野良猫対策はどうなっているのか。
- ・ 「住みたいまち」ではなく「住み続けたいまち」を作るべき。
- ・ ・・・など主に地域問題や意見交換会のあり方についてのご意見がありました。



参加いただきました市民の皆様の声を真摯に受け止め、議会として意見交換会代表者会を通じて協議研鑽していきます。

詳細な報告はホームページに掲載しています。

◇ 編集後記 ◇

クリスマススの日にこの編集後記を書いている。イエスが生まれたベツレヘムでは、クリスマスツリーに代えて瓦礫を積んでいるという。ガザの今に心を留めてのことだ。

ウクライナに続きガザで戦争が起きた。その惨状は市民から直接国際社会に伝えられてくる。そうした情報伝達技術の変化で、個人を国際法(国家を介さずに)直接に守ることが出来る時代になっているという講義を西南学院大学で聴いた。その通りだ。

他方、メディアによる選択の影響の大きさも痛感する。戦争が起きているのはガザやウクライナだけではない。人の苦しみに地域差はないのに。

議会だよりもメディアの一つだ。広報特別委員会も、伝える技術や技法は、他自治体に学び、研修に参加し、向上の工夫をしている。

でも、何を伝えようか、伝えられようか。なぞらえて言えば、ハマスかイスラエルかの選択を伝えるのではなからう。議会で起きている事実を伝え、判断を広く市民に社会に世界にゆだねることだろう。

瓦礫の中からでも現状を伝えられることの先に希望はある。私たちも戦火で苦しむ人と民主主義の根っこをそこで共有している。

議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
タコ	馬場	今泉	木村	堺利	笠田	原久美子
スキッド	礼子	義文	彰人	剛毅		